

『全国一般公募コンテスト形式の脳神経外科医手術技術評価法の研究』

2020年3月に行われる第29回脳神経外科手術と機器学会で開催される顕微鏡下手術手技コンテストに参加刺される採点者と参加者の皆様

研究協力をお願い

2020年3月に行われる第29回脳神経外科手術と機器学会で開催される顕微鏡下手術手技コンテストは、脳神経外科領域で行われる数少ないコンテスト形式の脳神経外科医手術技術評価法であり、今回の結果を用いて、「全国一般公募コンテスト形式の脳神経外科医手術技術評価法の研究」という研究報告（学会発表、論文報告）を行います。この研究は、第29回脳神経外科手術と機器学会（2020年3月20日、於、パシフィコ横浜）で開催される、『顕微鏡下手術手技コンテスト』に参加された皆さんの採点結果、医師経験年数、アンケート結果を用いた研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。採点結果は全て個人情報が明らかにならないように匿名化します。一方で、成績上位者氏名は、ご本人の同意を得られた場合のみ公開いたします。また、同意書面にご署名を頂いた方の情報を用います。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：全国一般公募コンテスト形式の脳神経外科医手術技術評価法の研究

研究期間：倫理委員会承認後～2022年3月31日

研究責任者：日本医科大学附属病院 脳神経外科 村井保夫

(2) 研究の意義、目的について

脳神経手術はその多くが顕微鏡を用いられる微細な操作です。しかし手術手技、技術に関してはその客観的評価が行われていません。一般外科、内視鏡手術ではシミュレーターを用いた報告がありますが、顕微鏡手術に関する研究報告、さらに、脳神経外科領域での検討がなされているものは多くありません。本研究では第29回脳神経外科手術と機器学会（2020年3月20日、於、パシフィコ横浜）で開催される、『顕微鏡下手術手技コンテスト』のコンテスト結果を解析し手術技量の客観的な評価法に応用する可能性とその問題点を解明していくことを目的とします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

第29回脳神経外科手術と機器学会（2020年3月20日、於、パシフィコ横浜）で開催される、『顕微鏡下手術手技コンテスト』の参加者と採点者の採点結果、手技ビデオ、開催中の写真、アンケート結果を解析し手術手技評価法としての客観性を解明していきます。本研究を遂行するにあたり検査の追加や、改めて研究のために御来院頂く必要はございません。この研究は、参加者の皆さんの以下の情報を用いて行われます。
情報：採点結果、医師経験年数、手術動画、全景写真、アンケート結果 等

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。一方、参加者のうち、希望される方には研究チームに御参加いただき、研究発表の共同研究者にご参加頂きます（発表時参加者名の公表）。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 脳神経外科 准教授 村井保夫
〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5
電話番号：03-3822-2131 (代表) 内線：25654
メールアドレス：ymurai @nms. ac. jp